



## 全日本同和会全国大会＆人権移動教室

5月22日（木）日比谷公会堂（東京都千代田区）で、「平成26年度 全日本同和会全国大会」が開催され、全国から1000名以上の各県連の会員及び自治体職員が参加した。

斎藤栄市長野県連全国副会長の開会の辞の後、大会会長挨拶で、松尾信悟全国会長が、「これまでの対策により物的な基盤整備は相当の成果をあげているが、心理的差別の解消の面ではいまだに差別事象が生じている状況であり、この差別意識の解消が今後の大きな課題である。この大会を実りのあるものにしたい。」という旨の挨拶を行ない、本大会の重要性を語った。

来賓祝辞として、細田弘之衆議院議員をはじめとして多くの国会議員の方々から「いじめや差別のない社会づくりにこれからも、ご尽力いただきたい。」とご祝辞をいただき、また、国会議員をはじめとして県知事、市長等多くの方々から、祝電も寄せられた。

記念講演に移り、講師には、参議院議員 自由民主党 片山さつき氏による「日本の再生について考える」という演題で、女性が暮らしやすい国はみんなにとっても暮らしやすい国である。日本経済を衰退から救うため真実の議論が必要であるなど、これから日本が行なっていかなければならないことを分かりやすく講演をしていただいた。続いて、議事に入り、平成25年度活動報告及び決算、平成26年度活動方針・事業計画及び予算について審議を行い、満場一致で決定した。今後、国民的課題においても理解と認識を得、同和問題の早期完全解決を期すことを決議し大会の幕を閉じた。



今年も人権移動教室がはじまった。

国連NGO横浜国際人権センターでは杉藤会長が講師となり、神奈川県をはじめとして山梨県内の小中学生たちにも、人権について理解してもらうため、わかりやすい内容で移動教室を行なっている。

すべての人が、平和で豊かな社会を実現するためには、相互に尊重されることが必要であり、そのためには、「人権の共存」が大切である。そして、人権が共存する社会をつくるには、すべての人が人権の意義と共存の重要性について、理解を深めるとともに、自分の権利の行使による責任を自覚し、他人の人権についても尊重することが必要になってくる。この移動教室では、単に人権問題を知識として学ぶだけでなく、日常生活においての態度や行動に現れるような人権感覚の涵養をはかっている。

豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、善悪の判断など人間形成の基礎をはぐくむ上で、幼少期は重要であり、すべての教育の出発点である家庭教育の充実を図るため、この人権移動教室が、その手助けになれば幸いである。

移動教室の中で杉藤会長は、生徒たちに「自分が幸せになるためには、どのような考え方で毎日の生活をすればよいか。」というテーマを子供たちにわかりやすく教えている。それは難しいけれども一つしかない。「他人を大切にする考え方になりきること。人を大切にする、人に親切にする、人にやさしくする。」このことは、誰でも皆、言葉としては知っている。しかし、大切にするという言葉が相手に伝わらなければ意味がない。それには伝えるための行動を起こすことが必要だと。

過去の移動教室DVDをご覧になりたい方は山梨プランチまでお問い合わせください。

国連NGO横浜国際人権センター・山梨プランチ

代表 横山 隆史（全日本同和会山梨県連合会会長）

〒400-0831 甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階 Tel 055-243-8563